

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(3月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

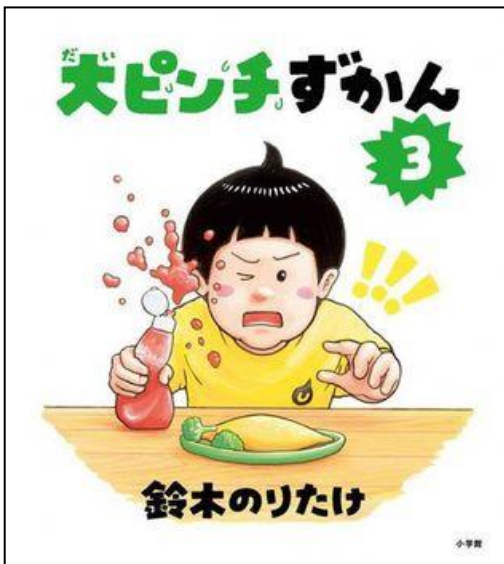
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『大ピンチずかん3』

鈴木のりたけ 作 / 小学館

対象：幼児から大人まで



内容のご紹介

3月に入りますと寒さも和らぎ、心も体も春の訪れを感じ、四季の変化を楽しむことができます。今月末に戸津辺の桜の開花宣言をします。是非お出かけください。

今月のおすすめの絵本は、先日、福島民報の“あぶくま抄”の記事の中で“大ピンチずかん”が紹介されました。小学生が選ぶ“こどもの本総選挙”で1位です。私が“読んだ本の中で”“失敗の本質”があります。人生は、得意な分野で失敗し何故か繰り返す。また、行動しない人は、失敗もしない。印象的に残っています。

この絵本の人気は、どんな失敗やピンチでも学ぶ機会だと捉えています。子どもたちが成長する中で失敗をどう解決していくか、考える絵本です。家族の愛読書のひとつとしてください。

“ピンチはチャンスなり”という言葉があります。子どもたちに学ぶ力を知ってほしいと思います。子どもたちの失敗をあたたく見守ってあげたいです。

新機軸うっかりメーターで大ピンチを考える大ピンチは思いがけない理由でやってくる。『大ピンチずかん3』では世の中のさまざまな大ピンチを、大ピンチレベルの大きさと今回初登場の「うっかりメーター」で表し、レベルの小さいものから順番に紹介する。ついうっかりしたことで大ピンチに陥ったのなら、それはまさに自分のせい。次に大ピンチにならないように考えることができるぞ。また大ピンチ調査や大ピンチを乗り越える方法など、知りたい情報も新たな切り口で掲載。さらに進化した『大ピンチずかん3』。3冊揃えて手元に置いておけば、もう安心だ。

(紹介文:小学館/矢祭もったいない図書館)